

平成30年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人金沢大学

2019年

平成30年度 金沢大学の動物実験等の実施状況に関する点検及び評価について

金沢大学では、動物実験委員会において平成30年度の本学における動物実験等の実施状況などについて「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省告示第七十一号。以下「基本指針」という。）及び「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省告示第八十八号。以下「飼養保管基準」という。）と適合しているかについて点検・評価を行いました。

その結果、全体的には概ね基本指針及び飼養保管基準に適合していましたが、一部に改善の余地が認められたところです。それらについては具体的な改善の方針を立てた上で、今後もさらなる動物実験の適正化に向けて取り組んでまいります。

なお、点検項目及びその評価、また浮かび上がった主な課題とその改善の方針は以下のとおりです。

【I. 規程及び体制等の整備状況】

1. 学内規程

機関内規程は定めているが、一部に改善すべき点がある。

公益社団法人日本実験動物学会による動物実験に関する外部検証事業（H30.11.22 受検）において、基本指針が示す動物実験委員会構成について実質的に満たしているものの規程に明記されていないとの指摘に対し、金沢大学動物実験委員会規程の改正を行った。（令和元年7月26日施行）

2. 動物実験委員会

動物実験委員会は基本指針に適合している。

3. 動物実験の実施体制

基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定めているが、一部に改善すべき点がある。

RI 投与実験の継続計画において、実施場所の指定漏れが見過ごされているものについて、感染実験及びRI 投与実験は、審査中一覧にインデックスを付けるなどの対策を令和2年度中に検討する。

また、遺伝子組換え実験承認番号を正確に記入していないものについては、遺伝子組換え実験安全委員会との連携を強化するとともに、事前審査するものが遺伝子組換え実験申請書を参照にして正しい承認番号を用いているかを適宜確認する。遺伝子組換え実験安全委員会で使用している、「遺伝子組換え承認済み実験計画一覧」web サイトを動物実験委員会委員にも閲覧できるようにした。

5. 実験動物の飼養保管の体制

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

【II. 実施状況】

1. 動物実験委員会

基本指針に適合し、適正に機能している。

2. 動物実験の実施状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

少数ながら計画書や報告書に不備が見られたり、報告書の提出が遅れたものがあった。計画書や報告書の不備に関しては、委員会を通して実験責任者に訂正依頼をしている。また、報告書の提出遅延者については、「動物実験計画の申請及び実施結果の報告要領」に基づき、部局への通知および部局長からの実験責任者への指導により、適切に対応している。今後は、これらの対応をさらに厳格に行っていく。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

該当する動物実験が適正に実施されている。

4. 実験動物の飼養保管状況

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

5. 施設等の維持管理の状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

施設の設置時に、動物実験委員会は動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを確認しており、毎年度、利用状況報告書の提出によって適正に維持管理されている事を把握している。しかし、動物実験委員会による定期的な調査、視察等は実施されていなかった。これに対し、1年間で4または5施設の点検を行うこととし、令和元年度については、10月に実施した。

6. 教育訓練の実施状況

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

外部検証において実験動物管理者に対する教育訓練のあり方についての指摘があった。基本指針説明の講習が未受講の実験動物管理者が一部いたが、受講対象者を見直すことによって解消された。また、主要2施設の専任教員が既に外部機関による専門研修を受講し、この2教員が自学用教材を監修して、すべての実験動物管理者が必要な知識を確認できるように対策を行った。

7. 自己点検・評価、情報公開

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

外部評価において教育訓練内容の公開が不十分との指摘があった。本報告書において、教育訓練の内容を充実したものにして記載した。

8. その他

本学としては2回目となる外部検証を受け、概ね良好な評価であった。

1. 動物種別飼養総匹数 (平成 31 年 3 月 31 日時点)

動物別飼養総匹数 (平成 31 年 3 月 31 日時点)

マウス	ラット	ハムスター	ウサギ	モルモット	スunks	ブタ	イヌ	フェレット	サル	カメ
51,173(38,953)	446	0	80	0	0	1	1	33	0	15

※マウス・ラットは二桁の概数表示；括弧書きは遺伝子組換え動物内数

2. 飼養保管施設・実験室の設置状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

飼養保管施設：11 区分 (20 施設)

【括弧内は、全学共用・研究室専用においては飼養動物種、部局共用においては、設置部局等；飼養動物種】

- 1) 学際科学実験センター 実験動物研究施設 (スunks・カメ・以外)
- 2) 学際科学実験センター 実験動物研究施設角間分室 (マウス)
- 3) 学際科学実験センター アイソトープ総合研究施設動物室 (マウス・ラット)
- 4) 学際科学実験センター 遺伝子研究施設感染動物実験室 (マウス・ラット)
- 5) 医薬保健研究域医学系動物施設
 - ・部局共用：医学系動物飼育室 (医薬保健研究域医学系；マウス・ラット)
 - ・研究室専用：医薬保健研究域医学系：4 施設 (マウス・ラット・スunks)
- 6) 子どものこころの発達センター動物施設
 - ・研究室専用：子どものこころの発達研究センター：1 施設 (マウス・ラット)
- 7) 医薬保健研究域保健学系動物施設
 - ・部局共用：保健学専攻看護科学領域動物飼育室 (医薬保健研究域保健学系看護科学領域；マウス・ラット)
 - ・研究室専用：医薬保健研究域保健学系：2 施設 (マウス・ラット)
- 8) 医薬保健研究域薬学系動物施設
 - ・部局共用：薬学系動物飼育室 (医薬保健研究域薬学系；マウス・ラット)
 - ・研究室専用：医薬保健研究域薬学系：2 施設 (マウス)
- 9) がん進展制御研究所動物施設
 - ・部局共用：がん進展制御研究所動物飼育室 (がん進展制御研究所；マウス)
- 10) 人間社会研究域人間科学系動物施設
 - ・研究室専用：人間社会研究域人間科学系：2 施設 (マウス・ラット・イモリ・カメ)
- 11) 理工研究域フロンティア工学系動物施設
 - ・研究室専用：理工研究域フロンティア工学系：1 施設 (ラット)

魚類または両生類のみを飼養する飼養保管施設：10 施設【全て研究室専用】

飼養保管施設外実験室：73 室【部局等共用 7 室，研究室専用 62 室，その他 4 室】

3. 動物実験計画の申請・審査，届け出状況

届出 9 件(魚類 6 件，両生類 3 件)

審査対象計画数：441 計画

✓ 承認計画：438 件；初年度計画 121 件(28%)

✓ 取り下げ：7 件(継続 2 件／新規計画 1 件／修正計画 4 件；修正 4 件は計画数に含まず)

✓ 否認：0 件

予備審査/本審査による申請者への指導件数：295 件 204 計画

□ 部局別計画件数(承認計画 438 件中)

✓ 医薬保健研究域:359 (82%)

医学系:270 (62%, 基礎系:71/臨床系:199), 薬学系:33 (8%), 保健学系:50 (11%), 子どものこころの発達
研究センター:6

✓ がん進展制御研究所:23 (5%)

✓ 新学術創成研究機構:20(5%)

✓ 学際科学実験センター:19 (4%)

✓ 人間社会研究域:13

✓ 理工研究域:3

✓ 国際基幹教育院:1

□ 動物種別・痛みのカテゴリ別計画件数(承認計画 438 件中)

	マウス	ラット	モルモット	ウサギ	イヌ	ブタ	サル	スunks	フェレット	ニワトリ	カメ	計
I	30	6	0	0	0	0	1	1	0	1	0	39
II	89	56	1	4	1	0	1	0	1	0	3	156
III	148	40	0	10	1	7	0	0	0	0	0	206
IV	36	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
計	303 (69%)	103 (24%)	1	14 (3%)	2	7	2	1	1	1	3	438

□ 飼養保管施設別計画件数

✓ 学際セ・実験動物研究施設: 337(単独:233/併用:104)

(併用施設) 角間分室:19, RI 動物室:25, 遺伝子研究施設感染動物室:10,
医学系動物室:31, 薬学系動物室:14, 看護科学領域動物飼育室:6,
周術期管理学:3, 薬理学研究室動物飼育室:2, D棟 4階動物実験室:5
眼科学動物実験室:1, 理学療法学動物室:1, 作業療法学動物室:1

✓ 学際セ・実験動物研究施設角間分室:35(単独:13/併用:22)

✓ 学際セ・アイトープ総合研究施設動物室:30(単独:5/併用:25)

✓ 学際セ・遺伝子研究施設感染動物室:22(単独:12/併用:10)

✓ 部局共用: 医学系動物室:49(単独:18/併用:31) 薬学系動物飼育室:21(単独:5/併用:16)
看護科学領域動物飼育室:9(単独:3/併用:6)

✓ 研究室専用: 医・周術期管理学動物室:4 保・理学療法学動物室(専攻内共用):10

医・眼科学動物実験室:3 人社・心理学動物飼育室:14

医・機能解剖学研究室:1 人社・運動生理学実験動物飼育室:3

薬・薬理学研究室動物飼育室:5 理工・バイオエンジニアリング動物飼育実験室:2

薬・ワクチン・免疫科学動物実験室:1 がん進展制御研究所動物飼育室:1

保・作業療法学動物室:1 子どもセ・D棟 4階動物実験室:8

✓ 飼養保管施設を使用しない計画:10(医学系:1, 保健学系:2, 薬学系:3, 理工研究域:3, 新学術:1)

4. 動物実験計画の動物種別使用総数

マウス	ラット	ウサギ	モルモット	ハムスター	スunks	ブタ	イヌ	フェレット	サル	ニワトリ	カメ	計
29,211	2,682	112	52	0	8	12	13	128	3	0	7	32,228

5. 飼養保管施設への実験動物導入匹数

- ・国内の生産業者 マウス：16,780、ラット：2,007、ウサギ：87、モルモット：56、フェレット：1、イヌ：6、ブタ：11、アカハライモリ：250
- ・学外の研究機関 マウス：120、ラット：6
- ・国外研究機関等 マウス：88、ラット：6
- ・自家繁殖にて生産 マウス：49,122、ラット：216、スunks：8
- ・その他（括弧内は移動元等） マウス：738（受精卵移植）
4,062（学内他施設からの移動）
ラット：276（学内他施設からの移動）
フェレット：15（国外生産業者）
リクガメ：15（前年度からの継続飼育）

6. 教育訓練について

- ・講習名称：金沢大学動物実験基礎講習
- ・講習時間：2時間20分
- ・講師：学際科学実験センター・教授 大黒多希子／准教授 橋本憲佳／助教 神村栄吉
- ・受講者数：16回（春期6回，臨時10回），合計301名
（開催日：2018-4-18，2018-4-20，2018-4-24，2018-4-26，2018-5-21，2018-5-26，2018-6-5，
2018-6-20，2018-8-1，2018-9-13，2018-10-11，2018-10-19，2018-11-19，2019-1-15，
2019-2-6，2019-3-1）
- ・講習内容：動物実験関連法規制解説および動物実験概論 80分，学内手続・基本作業解説 60分
 1. 動物実験反対運動を含む社会状況に関すること
 2. 関連する法令，基準，指針等に関すること
 3. 学内規則に関すること
 4. 検疫，環境順化，実験動物の授受，適切な飼養保管管理に関すること
 5. 安全管理に関すること
 6. 麻酔と安楽死処置，人道的エンドポイントに関すること
 7. 教育訓練，自己点検，情報公開等に関すること
 8. 動物実験概論
動物実験の目的，動物実験の妥当性，動物実験の3R，計画立案の考え方，動物実験に影響する諸要因と対策（遺伝的要因，環境要因，人獣共通感染症を含む）
 9. 学内手続（飼養保管施設・施設外実験室の設置，年次報告，動物実験計画の申請と報告）に関すること
 10. 共同利用の飼養保管施設の利用に関すること
利用申込，動物の搬入，施設の入退館，動線（含・衛生管理），動物室利用方法，ケージ交換（飼育管理），実験室の使用法（含・安全管理），環境保全，災害発生時の対応

7. 動物実験委員会委員構成について

動物実験委員会規程区分		所属	専門分野	備考	基本指針区分
1号	人間社会研究域の教員	人間科学系	実験心理学		A
1号	理工研究域の教員	自然システム学系	神経科学一般		A
2号	医薬保健研究域 医学系の教員	(同左)	神経生理学・神経科学一般、 生理学一般	委員長	A
2号	医薬保健研究域 薬学系の教員	(同左)	医療系薬学、応用薬理学		A
2号	医薬保健研究域 保健学系の教員	(同左)	解剖学，看護学		A
3号	がん進展制御研究所 の教員	(同左)	実験病理学，病態医化学	獣医師	A
4号	実験動物学を専門 とする教員	学際科学実験センター	実験動物学，獣医学	獣医師	B
5号	微生物学を専門 とする教員	医薬保健研究域医学系	寄生虫学，衛生動物学		C
6号	倫理を専門とする教員	人間社会研究域 人間科学系	西洋倫理学		C
7号	法律を専門とする教員	人間社会研究域 法学系	基礎法学，思想史		C
8号	学際科学実験センター 実験動物研究施設長	(同左)	実験動物学，生殖生物学		B
9号	研究・社会共創推進部 研究推進課長	事務局			C
10号	その他学長が必要と 認める教員	医薬保健研究域 医学系	神経解剖学		A
10号	その他学長が必要と 認める教員	学際科学実験センター	実験動物学	実験動物 1級技術者	B

基本指針区分： A 動物実験等に関して優れた識見を有する者，
 B 実験動物に関して優れた識見を有する者，
 C その他学識経験を有する者

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 学内規程

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・【資料1】金沢大学動物実験規程 ・【資料2】動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則 ・【資料3】飼養保管施設ならびに施設外実験室の適正な管理・運用のための留意事項 ・【資料4】金沢大学動物実験委員会規程 ・【資料5】動物実験委員会申し合わせ事項等 ・動物実験委員会の審査に関するメモ ・動物実験計画等審査小委員会に係る申合せ ・動物実験に係る施設の設置申請の審査マニュアル ・動物実験実施報告書の審議手順
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
公益社団法人日本実験動物学会による動物実験に関する外部検証事業（H30. 11. 22 受検）において、基本指針が示す動物実験委員会構成について実質的に満たしているものの規程に明記されていないとの指摘があった。
4) 改善の方針、達成予定時期
金沢大学動物実験委員会規程の改正を行った。（令和元年7月26日施行）

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
・【資料4】金沢大学動物実験委員会規程 ・【資料5】動物実験委員会申し合わせ事項等 ・動物実験委員会の審査に関するメモ ・動物実験計画等審査小委員会に係る申合せ ・【資料6】動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験委員会は基本指針に適合している。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none">■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定めている。□ 動物実験の実施体制が定めているが、一部に改善すべき点がある。□ 動物実験の実施体制が定めていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・【資料1】金沢大学動物実験規程・【資料4】金沢大学動物実験委員会規程・【資料5】動物実験委員会申し合わせ事項等<ul style="list-style-type: none">・動物実験委員会の審査に関するメモ・動物実験計画等審査小委員会に係る申合せ・動物実験に係る施設の設置申請の審査マニュアル・動物実験実施報告書の審議手順・【資料7】各種様式等<ul style="list-style-type: none">・動物実験計画申請・届出オンラインフォーム下書き用紙・動物実験計画書（新規・修正実験用）（様式2）・動物実験計画書（継続実験用）（様式3A）・動物実験計画書（試験・検定／学生実習継続用）（様式3B）・動物実験計画書（不開示情報用）（様式4）・動物実験計画承認証明交付請求書（様式7）・飼養保管施設設置（申請・届出）書（様式8）・飼養保管施設利用状況報告書（様式9）・飼養保管施設外実験室設置申請書（様式10）・動物実験実施報告書（様式11）・動物実験計画現況報告書（様式15）・記載事項変更・廃止届出書（様式16）・オンラインフォーム入力上の注意事項・動物実験計画の申請及び実施結果の報告要領・飼養保管施設及び施設外実験室の設置並びに利用状況の報告，記載事項の変更又は廃止に関わる様式等の記入要領
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・【資料 1】 金沢大学動物実験規程（第 7 条第 4 項，第 12 条第 4 項）
- ・【資料 2】 動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則
- ・【資料 1 2】 その他規程等
 - ・金沢大学遺伝子組換え実験安全管理規程
 - ・金沢大学微生物等安全管理規程
 - ・金沢大学特定病原体等安全管理規程
 - ・金沢大学学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設 RI 動物実験要項
 - ・学際科学実験センター実験動物研究施設利用要項
 - ・学際科学実験センター感染動物実験室（AF-013）利用マニュアル
 - ・金沢大学における化学物質の管理に関する細則
 - ・金沢大学における放射線障害の防止に関する管理規程
 - ・研究教育用エックス線装置エックス線障害防止管理規程
- ・【資料 1 4】 飼養保管施設一覧内の学際科学実験センター感染動物実験室（AF-013）マニュアル（感染動物実験において、「動物実験規程」第 12 条第 4 項に該当する管理者は、現在、「学際科学実験センター感染動物実験室」の管理者のみ）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・RI 投与実験の継続計画において、実施場所の指定漏れが見過ごされているものがある。
- ・遺伝子組換え実験承認番号を正確に記入していない場合があり、改善する必要がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・感染実験と RI 投与実験は、審査中一覧にインデックスを付けるなどの対策を行った。
- ・遺伝子組換え実験安全委員会との連携を強化するとともに、事前審査するものが遺伝子組換え実験申請書を参照にして正しい承認番号を用いているかを適宜確認する。遺伝子組換え実験安全委員会で使用している、「遺伝子組換え承認済み実験計画一覧」web サイトを動物実験委員会委員にも閲覧できるようにした。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(学内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料1】 金沢大学動物実験規程 ・【資料2】 動物実験等に関わる飼養保管施設及び実験室の設置と運用に関する細則 ・【資料3】 飼養保管施設ならびに施設外実験室の適正な管理・運用のための留意事項 ・【資料5】 動物実験委員会申し合わせ事項等 ・動物実験委員会の審査に関するメモ ・動物実験計画等審査小委員会に係る申合せ ・動物実験に係る施設の設置申請の審査マニュアル ・【資料7】 各種様式等 ・飼養保管施設設置（申請・届出）書（様式8） ・飼養保管施設利用状況報告書（様式9） ・飼養保管施設外実験室設置申請書（様式10） ・記載事項変更・廃止届出書（様式16） ・飼養保管施設利用者教育訓練実施報告書（様式17） ・微生物モニタリング検体送付票（様式18） ・飼養保管施設及び施設外実験室の設置並びに利用状況の報告，記載事項の変更又は廃止に関わる様式等の記入要領 ・金沢大学における実験動物飼養保管施設・微生物モニタリング実施要領 ・【資料14】 飼養保管施設一覧内 ・飼養保管施設指揮系統分類 ・動物実験関係緊急連絡体制図 ・マニュアル及び防災マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、学内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料1】金沢大学動物実験規程 ・【資料4】金沢大学動物実験委員会規程 ・【資料8】動物実験関係 ・動物実験計画の審査・届出状況 ・動物実験計画書一覧 ・安全管理を要する動物実験計画一覧 ・動物実験計画の申請に係る審査記録 ・動物実験計画の承認書 ・動物実験実施報告書 ・動物実験実施報告書の審査記録 ・【資料9】施設関係 ・飼養保管施設・実験室の設置及び飼養保管施設の実験動物の導入、飼養状況 ・各飼養保管施設の設置申請書、届出書(魚類・両生類)、マニュアル及び各飼養保管施設外実験室の設置申請書 ※各申請書類リンクは、【資料14】「申請書類等」欄参照 ・各飼養保管施設及び各飼養保管施設外実験室の設置申請に係る審査記録 ・各飼養保管施設及び各飼養保管施設外実験室の設置の承認書(写しを研究推進課にて保管) ・各飼養保管施設利用状況報告書 ※各報告書リンクは、【資料14】「利用状況報告書」欄参照 ・各飼養保管施設利用状況報告書の検証記録(第45回動物実験委員会協議事項7) ・【資料11】動物実験委員会 ・議事概要及び委員会決定に基づき学内に執られた措置 ・【資料14】飼養保管施設一覧 ・維持管理状況調査 H30 年度一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針に適合し、適正に機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料8】動物実験関係 ・動物実験計画の審査・届出状況 ・動物実験計画書一覧 ・安全管理を要する動物実験計画一覧 ・動物実験計画の申請に係る審査記録 ・動物実験計画の承認書 ・動物実験実施報告書 ・動物実験実施報告書の審査記録 ・【資料11】動物実験委員会 ・議事概要及び委員会決定に基づき学内に執られた措置
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 少数ながら計画書や報告書に不備が見られたり、報告書の提出が遅れたものがあった。
4) 改善の方針、達成予定時期 計画書や報告書の不備に関しては、委員会を通して実験責任者に訂正依頼をしている。また、報告書の提出遅延者については、「動物実験計画の申請及び実施結果の報告要領」に基づき、部局への通知および部局長からの実験責任者への指導により、適切に対応している。今後は、これらの対応をさらに厳格に行っていく。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験、物理的・化学的に危険な動物実験等が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料8】動物実験関係 ・安全管理を要する動物実験計画一覧
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 該当する動物実験が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料14】飼養保管施設一覧 ・飼養保管施設一覧及び飼養保管施設利用状況報告書 ・飼養保管施設の維持管理状況調査 結果集計 及び 視察結果 ・教育訓練の実施について ・マニュアル及び防災マニュアル ・飼養保管施設指揮系統分類 及び 動物実験関係緊急連絡体制図
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 □ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料14】飼養保管施設一覧 ・利用状況報告書 ・飼養保管施設の維持管理状況調査 結果集計 及び 視察結果 ・施設写真 (外部検証時使用含) : 温湿度点検記録・入退者管理記録等
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 施設の設置時に、動物実験委員会は動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを確認しており、毎年度、利用状況報告書の提出によって適正に維持管理されている事を把握している。しかし、動物実験委員会による定期的な調査、視察等は実施されていなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 1年間で4または5施設の点検を行うこととし、令和元年度については、10月に実施した。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料10】教育訓練関係 ・金沢大学動物実験基礎講習の実施記録 ・金沢大学動物実験基礎講習資料（日本語版／英語版／外国人研究者等対応テキスト） ・実験動物管理者講習資料 ・【資料14】飼養保管施設一覧内「教育訓練の実施について」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 外部検証において実験動物管理者に対する教育訓練のあり方についての指摘があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 基本指針説明の講習が未受講の実験動物管理者が一部いたが、受講対象者を見直すことによって解消された。また、主要2施設の専任教員が既に外部機関による専門研修を受講し、この2教員が自学用教材を監修して、すべての実験動物管理者が必要な知識を確認できるように対策を行った。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・【資料13】自己・点検評価、情報公開 金沢大学における動物実験等に関する情報公開
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 外部評価において教育訓練内容の公開が不十分との指摘があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 本報告書において、教育訓練の内容を充実したものにして記載した。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

本学としては2回目となる外部検証を受け、概ね良好な評価であった。